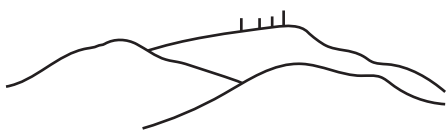


Youth Manna

2022/3/28 - 4/3



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2022/3/28(月)

ゼカリヤ 14 章

ゼカリヤが預言する「主の日」。その時エルサレムは多くの国々に攻められているが、主が彼らのために戦われると語られている(2,3)。そして4節以降、「その日」と繰り返し語られている。

「その日」、イエス様が再び来られ、オリーブ山の上に立たれる(4)。「その日」には、光も寒さも霜もなくなり、神である主が人々を照らされる(6, 黙示録 22:5)。「その日」には、エルサレムからいのちの水が流れ出る(8, 黙示録 22:1)。イエス様が王となられ(9)、「その日」には、主が勝利を収められ、主こそが礼拝されるべき方であることがすべての人に明らかとなる(12-16)。「その日」には、生きることのすべてがきよめられたものとなる(20-21)。

「その日」がいつなのかは私たちに知らされていない。大切なのは、いつイエス様が来られてもいいように、今日を生きることだ。自分の生き方が神様の目から見てどうか考えよう。そして今日をイエス様のために生きよう！！

2022/3/29(火)

詩篇 114 篇

この詩篇は神様の救いのみわざについて書いています。エジプトで奴隷であったイスラエルの民が苦しみから解放されたように(1) 私達も罪の奴隷から解放されて神様のものとされました(2)。私達にとって大きくどうにもできないような、海、川、山、丘(3-6)を神様は支配して巻き込み、全てを神様の計画と救いのみわざのために用いました。それほど偉大な方が私達の罪のために低くなって命まで捨てて下さった大きな愛と「岩を水にあふれる泉に」すると約束して下さる希望を握って今日一日を歩もう！！

●大きな神様の愛を覚えて、無理だと思ふこと助けてほしいこと何でも祈ろう！！

2022/3/30(水)

詩篇 115 篇

「主に信頼せよ」がこの詩篇では三度繰り返される(9-11)。そして、三度、イスラエルの家を、アロンの家を、主を恐れる者を祝福して下さると繰り返される(12-13)。

主に信頼する者には、確かに祝福が約束されている。どんな状況にあっても、主が、主を恐れる者たちを覚えていてくださり、祝福して下さるのである。この確信を表明する者でありたい。

祈り：どんなときにも、どんな状況にあっても、あなたの御前に心を注ぎ出して祈り、あなたに信頼することを教えてください。

2022/3/31(木)

詩篇 116 篇

4v 「主よどうかわたしのいのちを助け出してください」

これは、死に直面する病気と苦しみにあっていて、命が惜しくて言ったのではなく、主の恵みの豊かさを生きてもっと知りたいからである。私たちはもっと神様のみこころを知り、神様と歩む必要がある。

だからまず祈ろう！！神様はただ私たちの祈りを聞かれるのではなく、身を乗り出して聞いてくださる。全ての必要は神様が与えてくださる。求めている個人的な答えとは違うかも知れないが、本当の必要に答えてくださる。信じよう！！

117 編じゃないよ！ 2022/4/1(金)

詩篇 118 篇

繰り返し使われている言葉が多くある：

- ・主に感謝せよ 1,29
- ・主はまことにいつくしみ深い 1,29
- ・主の恵みはとこしえまで 1-4,29
- ・主は私の味方。私は恐れない 6,7
- ・主に身を避けることは～良い 8,9
- ・主の御名によって私は彼らを断ち切る
- ・主の右の手は力ある働きをする 15-17
- ・私はあなたに感謝します 21,28,29
- ・あなたは私の神 28

改めて読み返してみると、詩人がどれほど主を信頼しているのかが伝わってくる。今日から新学期が始まって不安な気持ちになるかもしれない。その気持ちを主に祈ることで、主に信頼する一歩を踏み出そう。

2021/4/2(土)

詩篇 119:1-32

今日のところでは、聖書が言っている「幸いな人」とはどんな人が分かるね。不正をせずに、神様の教えに歩む人をこの箇所では「幸いな人」と言っている。じゃあどうしたら神様の教えに歩めるのか、それは、神様のみことばに従うことでできると語られているね。

私たちは、神様が私たちに語っていることばを喜びとしていつも受け取っているかな？「幸いなこと」だと思えているかな？

神様が今日私たちに教えてくださっていることは何か考えてみよう！そして主の道に歩むことができるよう祈ろう！

2021/4/3(日)

詩篇 119:33-56

33節「主よ あなたのおきての道を教えてください」

私たちは主のみこころを知りたい、みことばを学びたいと日々願って歩んでいます。が、教えてくださいのは主ご自身だけです。この箇所では、主権が神様にあり、私たちが神様のはたらきによって生かされていることが続けて書かれています。主は私たちをご自分の道に生かして下さる方であり、私たちはこの方に「私を生かしてください」と祈ることが許されています。

私たちが主の御前に日々祈っていることは何でしょうか。主との交わりの中で、何を願っているのでしょうか。47節「私はあなたの仰せを喜びます。それを私は愛します。」主がみことばから、今日私たちに教えてください。それは何かだろうか。このみことばが、自分自身の祈りとなるように、静まり、思いめぐらそう。